

わたぼうし

R5.12 VOL.31



福岡県若年性認知症サポートセンター

認知症の方の未払い行動について考えるシンポジウム

Symposium
2024



認知症になっても 楽しく買い物ができる 社会を考える

第2弾



定員
50名

—前向きに参加できるあたたかい社会を—

認知症の方が買い物に行くと、お金を支払うことを忘れて品物を持ってきてしまうという「未払い行動」が起きることがあります。認知症の方にとっての買い物は、生活必需品を手に入れるためだけでなく、日常生活における楽しみや貴重な社会参加の機会になり、自分ができることを認める大切な機会となります。そこで、昨年度6月に行ったシンポジウムからこれまでに福岡県の中での動きについて報告とこれから地域に住み続け、安心して買い物ができるようにするためにはどうすれば良いのかを考えるきっかけとなればと思い、シンポジウムを開催します。多くの皆様の参加をお待ちしております。

日時 **1月19日(金)**

時間 **13:00 ~ 16:00** 開場 **12:30 ~**

場所 **アクロス福岡606会議室**
福岡市中央区天神1丁目1-1

参加方法

別紙にて参加申込み書にご記入ください。参加費無料。

詳しい内容やシンポジウムへの参加申込書は、福岡県若年性認知症サポートセンターのホームページに掲載しています。
(<https://www.jakunenfukuoka.com/>)



研修会に参加しました

11/19 (日) 全国若年認知症フォーラム in 福岡

当事者の工夫をつなげるテクノロジー
～若年認知症×認知症フレンドリーテック～

フォーラムでは、ITを活用することで認知症になってできないことをITが代わりにしてくれる身近なとても大切なものだと思います。当事者の丹野智文さんからITは「脳の代わり」という表現もありました。

12/19 (火) 令和5年度第2回若年認知症支援コーディネーターの情報交換会

北海道から沖縄までの全国の若年性認知症支援コーディネーター約350名の方と情報交換を行いました。他のコーディネーターの方々と企業や関係機関との連携等をテーマに様々な情報交換を行い、いつでも相談できるネットワークを構築しました。

12/20 (水)

福岡産業保健総合支援センター主催「職域における若年認知症の対応について」

労働衛生管理者研修会で若年性認知症の方の勉強をしたいとの要望があり、上記のテーマで開かれました。就労を継続するためには本人・家族や企業、産業医、主治医等との連携が大切です。若年性認知症の方が仕事を継続できるように、多くの関係機関と連携を図っていきたくと思いました。

受託法人：特定非営利活動法人たすけ愛京築

お問い合わせ先

〒824-0004

福岡県行橋市金屋 649-1

TEL：0930-26-2370

FAX：0930-37-1873

E-mail：jakunenfukuoka@gmail.com



メール



ホームページ